

# 生徒のスマホ一括管理



ビジネスバッグより一回り大きなかばん。内側に並んだビニール製のポケットには、スマートフォンを1台ずつ収納できる。

開発したのは学生服メーカーのトンボ（岡山市北区厚生町）。中学生の約半数、

## 写録 2017

高校生の9割以上がスマホを利用する時代となり、クラス朝礼時に預かり、終礼時に返却している学校は少なくない。スマホの管理が、先生の新たな「悩みの種」になりつつある点に着目した。

商品名は「スマホ預かりバッグ」。ポケットに名札を一緒に入れることで取り違いも防げる。

昨年夏から秋にかけて、東京、大阪など全国4会場で開催した学生服の展示会に試作品を出品したところ、反響が大きかったため商品化した。縦42センチ、横55センチ。収納数が20台と40台の2種類あり、全国の販売会社を通して学校に納める。価格はいずれも3万円程度。

岡山県内の学校で導入実績はないが、県外では既に採用した学校もある。同社は「スマホの管理に負担を感じている先生たちの手助けになれば」としている。

（文と写真・岸本渉）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2017年5月31日 山陽新聞朝刊 31ページ